



ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：井上 修 副会長：鈴木一比古 幹事：加藤 篤 公共イメージ向上委員長：瀧谷恵二

UNITE FOR GOOD
よいことのために
手をとりあおう

2025-2026年度 RI会長メッセージ
よいことのために手をとりあおう

2025-2026 RI会長
フランチェスコ・
アレツォ
<イタリア>



第1761回例会 令和7年12月2日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 唐澤千明ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

・支援留学生 ジュ イェソン 様 (オンライン)

■ 会長談話 井上修会長



淡路島の伊弉諾神宮に行ってきました。伊弉諾尊・伊弉冉尊を祀る日本最古の宮です。この二神から天照大神が誕生します。いざなぎ、いざなみは伊邪那岐尊・伊邪那美尊とも書きます。両神に伊那という言葉があり、我が郷土伊那市が何かしらの縁を持っているのではないと思いつけています。



国生みの伝承の伊弉諾神宮



国生みの伝承の伊弉諾神宮



毎朝の朝会巫女も常駐

伊弉諾尊 伊邪那岐尊 伊邪那美尊

■ 慶 祝

12月誕生祝い

・肥沼光彦会員 ・橋爪麻人会員



■ ニコニコボックス

◆井上修

お陰様で長男夫婦に男子が誕生。岡山県・倉敷市でお宮参りをして参りました。

◆加藤篤

本日年次総会が行われます。会計中間報告で申し上げますが、ニコニコ BOX 収入が伸び悩んでおります。ご協力をお願いします。

◆橋爪麻人

本日のロータリーの友紹介は7分だけになってしまいましたが、相談料にすると4千円くらいでしょうか。恐縮ですがよろしくをお願いします。

■ 幹事報告

加藤篤幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・11月25日(火)「ロータリー財団委員会・米山記念奨学委員会」合同委員会の報告

田中真人米山記念奨学委員長



11月25日(火)19:00よりロータリー財団と米山記念奨学委員会の合同委員会を海老屋さんで開催しました。委員会の内容は毎年実施している特別寄付金を募るためのリスト作りを行い、ロータリー財団は5人、米山は8人の会員に寄付金をお願いする形となりました。昨今の円安や物価高などの影響で寄付をお願いするのは忍びなかったですが、そんな状況でも協力して頂きました。

・11月30日(日)地区職業奉仕セミナーの報告

太田明良職業・社会奉仕委員長



令和7年11月30日午後1時30分から開催された地区の職業奉仕セミナーにウェブにて参加しました。

テーマとして「未来へつなごう ～信州を支える若者たちへ～」を掲げ、冒頭、白鳥敬日湖直前ガバナーから趣旨説明がなされ、基調講演として阿部守一知事からは「学びの「新しい当たり前」を共に創る」との題名で、武田育夫教育長からは「子どもを中心とした「探求県」長野を実現するために」との題名でそれぞれ講演がなされました。

私の感想としては、内容としては昔から言われていると思われる詰め込み式・画一的教育からの転換という視点で話されており、教育の形を定めるということはなかなか難しいことだと感じました。

その後、「地域の高齢者を置き去りにしないために、若者はどのように関わるべきか ～世代を超えた「共助と創成」の信州モデルを考える～」とのテーマで、阿部知事・武田教育長・白鳥直前ガバナー・野本地区職業奉仕委員長及び現役高校生達とのパネルディスカッションが行われました。

現役高校生達がそれぞれの視点で問題意識をもち、活動に取り組んでいることが発表されて充実したパネルディスカッションとなりました。

個人的な感想としては、このような場所に来て発表ができる子たちは自発的に活動しているのならとても良いことだとは感じる一方で、おそらく学校とか教育とかの枠にはまれない子たちも相当数いるため、そのような子たちにどのようなアプローチができるのかについてもっと掘り下げたセミナーができるといいなと思いました。

・1月30日(日) RLIパート2の報告 宮下健会員



2025年11月30日(日)、塩尻市市民交流センター「えんぱーく」にて開催されたRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)に参加いたしました。午前9時30分から午後5時まで、下記の6セッションを受講いたしました。

1. 成功に導くための計画
2. 会員を勧誘する
3. チーム作りとクラブコミュニケーション
4. ロータリー米山記念奨学事業
5. ロータリー財団II 目標とする奉仕
6. 強いクラブを創る

RLIは終日ディスカッション形式で進行されましたが、私自身、休日は仕事の遅れを取り戻す貴重な時間でもあり、結論に至らない話し合いが続くことに正直もどかしさを感じました。ただ、多様なクラブの価値観や運営方法を耳にする機会としては貴重であり、「ロータリーにはこんな考え方もあるのか」と視野が広がる部分もありました。

ロータリー米山記念奨学事業について抜粋いたします。

本事業は、日本最大の民間国際奨学事業であり、これまでの累計奨学生数は23,509名(2023年7月時点)、出身国は世界131の国と地域に及びます。出身国別では、中国が最多で、続いて韓国、台湾と、アジア諸国が中心となっています。

現在、日中間の情勢には不穏な面もあり、中国出身者を奨学生の対象から外すべきだという意見があることも承知しております。しかし、私自身は、この事業こそが中国はじめ各国の若者を最も支援してきたロータリーの誇るべき取り組みであり、国際平和と親善の推進、そして公共イメージ向上に大いに資するものと考えております。その旨を、これまで折に触れて答弁してまいりました。

・「ロータリーの友」12月号紹介 太田明良会員

まずは横組みの3頁目をご覧ください。

12月はロータリーの「疾病予防と治療月間」とのことで、身体の健康だけでなく、メンタルヘルスを含めたロータリー会員の取り組みに注目する月だそうです。

世界ではほぼ7人に1人が何らかの精神疾患を患っており、にもかかわらず、うつ病に苦しむうちのわずか9%しか適切な治療を受けていないということがWHOの最近の報告書で報告されているそうです。

現在のRIの会長も実は吃音があり、人前で話すことが怖かったとの告白がなされており、誰にでも悩みがあるためクラブでもメンタルヘルスへの認識を高める必要が指摘されていました。

私も、この記事で指摘されている「ただ『元気?』と聞くのではなく、『本当のところはどう?』と問いかけることが大切だ」とのことを友人等に実践したいと思いました。

次に5頁以降をご覧ください。

「ロータリー談義」というロータリーの友ではかつてよく行っていた対談や座談会が7年ぶりに復活したとのことで、より身近にロータリーの実体がわかるようにとのことで、2ヵ月に亘って記事となるとのことです。

この談義はガバナー経験者3名の対談形式になっており、面白かったのは入会時には皆あまりロータリーのことを知らず付き合いのような形で入会したが、役割を与えられることで徐々にロータリーの魅力を感じるようになり、活動が活発化していったとのくだりでした。

14頁以下では特別企画として「参加して良かったポリオ根絶活動 -第1回-」との題名でロータリアンのポリオ活動についての紹介がなされています。

ポリオ根絶の活動をロータリーがしていることは理解しており、その社会的意義も自分なりに理解はしつつも、正直、今一つ自分事として捉えられていないなと感じることがあるため、ここでの実際にパキスタン等の現地に赴きポリオワクチン投与活動に参加するという機会があれば参加したいと思いました。そうすればより身近にポリオの問題を感じられ、寄付等のロータリーのポリオ根絶活動により一層の熱意をもって参加できるのではないかと感じました。

20頁、21頁にはバギオ基金の紹介がなされております。私自身、バギオ基金の名前は聞いたことはありますが、具体的な活動を知りませんでした。改めてロータリーの活動は幅広いものだと感心しました。

32頁、33頁は各ロータリーの活動報告がなされています。私として参考になったのは鳥羽RCの報告で、「未来のために手をとりあおう」とのクラブスローガンを掲げて、「海と音楽」をキーワードに、環境保全と芸術を融合させる事業を通年で行ったとの記事です。

通年でテーマを決めて事業をすることで、事業についての一貫性が生まれて地域連携や学びについてより深まるのではないかと感じました。

また、個人的には環境問題・生物多様性の問題に興味があるため立山RCの活動も気になりました。

縦組みの記事に移りますがまずは2頁以降では、母子手帳を発明した日本WHO協会理事長の中村安秀さんの2025年5月23日に第2640地区・御坊ロータリークラブ特別公開講座にて行われたスピーチの要旨が紹介されています。

母子手帳が日本で発明されていたものであって、その有用性について世界で認められており、母子手帳の利用が世界でも拡充しているということに、単純に驚きをもって読みました。

次に7頁以降では「この人を訪ねて」との記事で、青森ロータリークラブの坂井哲博さんの記事が掲載されています。この方は麻酔医であり、地方の基幹病院の副院長として研修医の育成プロジェクトの責任者として働いているとのこととロータリーの職業奉仕の精神を実践されている方だと感じました。

その他11頁には「にっぽんふうど 五十三次つまみ食い」の記事ではうなぎの蒲焼の名前の由来等食についてのうんちくが書かれていて面白く、20頁には「ロータリーあるある相談室」との記事では身近なロータリアンの悩みを経験豊富なロータリアンが回答するといったロータリー活動に役にたつ記事もありますのでご紹介申し上げます。

■ **出席報告** 会員数40名 出席免除会員4名 長欠会員1名 本日出席者(例会場)23名 (ZOOM)1名
事前メイク6名 出席率85.71% 前回出席率 修正なし

■ **理事会報告** 加藤篤幹事

1. 12月16日年末家族例会タイムテーブルについて
 - ・年末負担金について…家族例会の清算後に第3期分会費と併せて1月に徴収
2. 次期(2026-2027年度)役員・理事の構成について
 - ・指名委員会より次期会長エレクト・副幹事報告
 - ・宮下会長エレクトより役員・理事・委員会構成について説明
 - ・衛星クラブ発起人会より議長・幹事報告
3. 12月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて(参考として令和8年1月)
4. 伊那中央RC事務所年末年始休業について(地区事務所に合わせる=後日)
5. その他=議案上程ありませんでした。

■ **年次総会**

1. **次期役員・理事発表**
 - ・指名委員会より報告 井上修指名委員
次期会長エレクトと次期副幹事の決定報告
 - ・次期役員・理事の発表 宮下健会長エレクト
次期委員会構成・組織変更について報告
次期役員・理事の発表

